

第6回 河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会

議事要旨

開催日時：令和4年2月14日(月) 14:00~15:00

開催方法：Web会議

委員：35市町村長(代理含む)、気象庁 前橋地方気象台長、
群馬県 県土整備部長、総務部危機管理課長、企業局発電課補佐、
12土木事務所長(代理含む)

アドバイザー：国土交通省、独立行政法人 水資源機構

議事要旨：

1. 開会

2. 挨拶

○会長(県土整備部長)

令和元年東日本台風で被災した県管理施設450箇所、令和2年の豪雨災害34箇所の復旧工事については、今年度末の全箇所完了を目指し、復旧工事を進めているところである。

本協議会の県管理河川に関する防災・減災のための取組は、本日で丁度、5年間が経過したことから、今回の協議会では、「第1期5か年の取組の報告」のほか、「第2期5か年の取組の目標設定及び取組方針」についてご審議、ご意見をいただきたい。

3. 議事

○事務局

(1)第1期5か年の取組(H29~R3)の報告

資料1により、要配慮者利用施設の避難確保計画作成や水害ハザードマップ見直し等の減災のための第1期5か年の取組状況について報告。

(2)令和3年度減災のための取組

資料2により、水防法改正に伴う中小河川の浸水想定区域指定、リアルタイム水害スク情報システム、マイ・タイムライン作成支援について説明。

○委員

議事(1)(2)について意見なし。

○前橋市 課長

マイ・タイムライン作成支援の取組について、本市では、水害リスクのある地区が232地区あり、効率的に進める必要があることから、複数の自治体会で構成された連合会単位で、自治会役員を対象に作成講習会を開催し、並行して個別の自治会へのフォローアップとして、住民を対象にした作成講習会を随時、進めていく方針としている。講習会の資料作成にあたっては、住民にとって極力わかりやすいものとなるよう県と協議を重ねて作成した。

○桐生市 副市長

本市では、平成26～30年度までに土砂災害警戒区域内にある48町会において独自の自主避難計画を作成している。過去に起きた災害や事象など地域住民だからこそ知る情報をハザードマップに落とし込み、土砂災害の予兆現象や降り始めからの雨量といった避難基準を設定している。今後は、自主避難計画のフォローアップと洪水のマイ・タイムライン作成支援とあわせて、市民が円滑かつ安全に避難できるよう支援を検討してまいりたい。

○事務局

(3)第2期5か年の取組(R4～R8)の目標設定及び取組方針

資料3により、中小河川の浸水想定区域指定に伴い、減災のための取組範囲を中小河川まで拡大し、令和8年度までの第2期5か年の取組として、新たな達成目標や取組方針等を説明。

○委員

議事(3)について意見なし。

議事(3)第2期5か年の取組(R4～R8)の目標設定及び取組方針について承認。

4. その他

○榛東村 村長

令和元年台風第19号接近の際、本村として初めての自主避難所が開設されたほか、民生委員が高齢者の方々に声かけをして集会施設に避難し、昼夜を共にしていただいた。これらは平成19年度から社会福祉協議会と連携した「住民支え合いマップ」づくりを継続して毎年行っている賜物であり、本年度は内閣府の個別避難計画策定のモデル事業に採択された。今後は、中小河川の浸水想定区域指定に伴い、ソフト事業を中心に本協議会の取組を通して住民共に取り組んでまいりたい。

○吉岡町 町長

本町では、防災専門員の防災講話による町民の防災意識の向上や、本町で初めてとなる避難所開設訓練を実施し、自治会や自主防災組織の役員に共助による避難所運営を体験していただいた。今後も防災専門員を中心に、自主防災組織の活動充実を促しながら、町全体の防災力向上につなげていきたい。

また、利根川沿いの吉岡ケイマンゴルフ場の南で、川の流れにより地盤が削られている箇所があるため、対応検討をお願いしたい。

○明和町 町長

大型台風接近の72時間前から実施する事前放流について、まだ体制が整っていないと聞いた。早急に体制を取っていただくよう国に早急にあげていただきたい。

令和元年台風第19号の際に、本町の南を流れる利根川では、堤防天端まで1.5mまで水位が上がったが、下流の関宿で分岐する江戸川では5mも下にあった。要するに川の水が流れていないため、利根川の河床を下げる、雑木を片付ける等の作業をお願いしたい。

○千代田町 町長

本町の南を流れる利根川では、令和元年台風第19号後に島ができてしまい、そこに木も生えているため、伐木や掘削等をお願いしたい。

また、本町では、令和4年度中に全ての自主避難組織の結成を目標とし、連絡協議会を立ち上げ、自主防災組織を中心とした様々な取組を行っている。その中で、まるごとまちごとハザードマップや防災無線のサイレン放送のほか、民間企業と連携し、河川監視カメラを利根川と利根加用水等に4箇所設置している。

○甘楽町 副町長

本町では、要配慮者の事前の自主避難や親戚宅への避難を日頃からお伝えしている。コロナ禍のため、避難訓練・避難所開設訓練は新しい方式で2年ほど取り組んでいる。

令和元年台風第19号の際、土砂崩れによる流木が橋脚等にかかり、河川が溢れる恐れがあった。そうした流木等による被害を事前に抑えるためにも県のご支援をいただきたい。

また、来年度から新しい情報伝達ツールとして、スマホを高齢者の方に使ってもらえるよう購入の補助や使い方の講習会など、スマホの普及を進めてまいりたい。

○事務局

令和3年10月に運用開始した「群馬県危機管理センターオペレーションルーム」の目的や用途等を紹介。

5. 閉会